

# 福島民報

2016 (平成 28) 年  
8 月 27 日  
土曜日

## 薬草で慶大と契約へ

### 磐梯町が6次化商品開発

11月にもシンポ

史跡慧日寺跡の薬師信仰による「薬草の里づくり」を進める磐梯町は三十日、慶応大SFC研究所と薬草栽培などに関する業務委託契約を締結する。産学官連携事業として、十一月にも町内で薬師信仰と薬草に関するシン

ポジウムを開く。

契約に基づきシンポジウムの他、町内の風土に適した薬草を選び、栽培の時期や方法などを研究する。町で栽培可能な薬草のうち、製薬会社の需要を調査。薬草を活用した薬膳料理など六次化商品の開発を進め、特産品化を目指す。

町は七月、漢方医学

が専門の渡辺賢治慶応大SFC研究所上席所属員・環境情報学部教授を町内に招き、五十嵐源市町長と「薬草の里づくり」構想について意見を交わした。

構想は町の総合戦略に基づき、平成三十二年度までの五年間の実施を想定している。